

# 令和3年度第1回柏市地域包括支援センター運営協議会 会議録

## 1 開催日時

令和3年7月15日（木）午後1時30分から

## 2 開催場所

ウェルネス柏4階 大会議室（ハイブリット形式）

## 3 出席者

### (1) 委員

石山委員（会長），織田委員（副会長），井部委員，鎌田委員，齊藤委員，高野委員，高橋委員，中村委員，前野委員，村上委員

### (2) 市

高橋保健福祉部長，小川保健福祉部次長兼障害福祉課長，橋本福祉政策課長，梅澤地域医療推進課長，宮本高齢者支援課長，渡邊法人指導課長，矢部生活支援課長，浅野地域医療推進課専門監

### (3) 事務局（地域包括支援課）

吉田課長，竹本専門監，宮島専門監，阿部統括リーダー，秋谷副主幹，横山副主幹，長谷部副主幹，酒井副主幹，相澤主事，宇賀神主事補

### (4) 地域包括支援センター

山本柏北部地域包括支援センター長，俵柏北部第2地域包括支援センター長，大島北柏地域包括支援センター長，齋川北柏第2地域包括支援センター長，笠原柏西口地域包括支援センター長，小野田柏西口第2地域包括支援センター長，村本柏東口地域包括支援センター長，志摩柏東口第2地域包括支援センター長，本部光ヶ丘地域包括支援センター長，神津柏南部地域包括支援センター長，橋本柏南部第2地域包括支援センター長，日笠沼南地域包括支援センター長

## 4 議題

(1) 第8期柏市高齢者いきいきプラン21における地域包括支援センター関連施策について

(2) 令和2年度地域包括支援センターの事業実績について

(3) 令和2年度地域包括支援センターの事業評価について

(4) 令和3年度地域包括支援センターの事業計画について

(5) 柏市地域包括支援センターの機能強化について

5 報告事項

介護予防支援及び総合事業に係るケアマネジメント業務について

6 議事

(1) 第8期柏市高齢者いきいきプラン21における地域包括支援センター関連施策について

【事務局より説明】資料1のとおり

<質疑応答>

なし

(2) 令和2年度地域包括支援センターの事業実績について

【事務局より説明】資料2のとおり

<質疑応答>

【石山会長】

ケアマネジャー支援について活発に活動しているようだが、研修などに参加していただけない居宅介護支援事業所はあるか。そのような居宅介護支援事業所に対し、どのように支援をしているのか。

【事務局】

研修会によっては、参加していただけていない居宅介護支援事業所がある。研修以外の支援として、居宅介護支援事業所を訪問し、個別に面談を行っている地域包括支援センターもあるので、様々な方法でできる限りたくさんの居宅介護支援事業所を支援していけるよう努めている。

(3) 令和2年度地域包括支援センターの事業評価について

【事務局より説明】資料3のとおり

<質疑応答>

【鎌田委員】

昨年度はコロナ禍で通常通りに活動ができなかった。地域包括支援センターも同様だと思うが、苦労した点、工夫した点を具体的に教えてほしい。新型コロナウイルス感染症の感染拡大前に事業計画を策定したわけだが、コロナ禍においても評価が良かったのはなぜか。

【事務局】

コロナ禍において参集が難しいという現状があった。柏北部地域

包括支援センターでは ICT などを用いて事業に取り組んでいた。

**【柏北部地域包括支援センター】**

サロンなどの活動ができなくなり、集まりの機会が失われた。ホームページなどでフレイル予防などに関する動画や、オリジナルで作成したほくほく音頭を動画で配信し、柏北部地域包括支援センターの周知に努めた。また、オレンジ散歩や地域住民との散歩などを実施し、密にならないように活動を工夫した。

**【事務局】**

このように、柏北部地域包括支援センターは、紙媒体やホームページ等を活用したフレイル予防の普及啓発を行うなど、参集の講座だけでなく、できることを工夫して実施することができたため、良い評価とした。

**【石山会長】**

今後も、新型コロナウイルス感染症を考慮した取り組みは必要である。

国でも、介護保険法改正後に新型コロナウイルス感染症への対応を反映した介護報酬改定を行わざるを得ない状況となるなど、極めて異例な対応となっている。

**【織田委員】**

昨年と比べ悪くない結果と感じる。コロナ禍でもしっかりとやっているのだと感じる。

**【鎌田委員】**

個別訪問等をしなくてはならない場面で、コロナ禍のため実施できなかったのではと思う。住民の方と接するタイミング等配慮されたのではないかと思う。早くワクチン接種を行い、地域包括支援センターが安心して活動できるようになってほしい。

**【高橋委員】**

コロナ禍でも頑張っているのだと感じた。柏市薬剤師会等も協力していくので、引き続き頑張ってほしい。コロナ禍でストレスがたまり虐待が増えているのではないか。虐待まではいかなくとも介護疲れなどの影響が出てきていると思われる。大変だとは思いますが、そのような方々に関わっていただきたい。

**【石山会長】**

高齢者虐待は，地域包括支援センターにおいてもますます注意を要するところであり，周りも協力していかなくてはならない。

**【高野委員】**

事業評価について，3職種の人員が不足しているところがあるが，人員が足りていないことによる弊害はあったか。

**【事務局】**

各法人に欠員補充対応は継続して依頼しているところではあるが，欠員の状況下でも，最大限業務を行っている。不足している専門職の視点は，当課の専門職がアドバイスや支援を行っている。

**【高野委員】**

これからますます人員確保が難しくなってくると思うが，継続して運営できるよう頑張ってもらいたい。

**【石山会長】**

今後，人員確保が困難になると予想されるため，この課題については考え続けなくてはならない。

**【中村委員】**

事業評価について，柏南部地域包括支援センターの34番は自己評価で1が，行政評価で3がついているが，評価に差が開いていることの理由は何か。

**【事務局】**

介護職は医療職に対し相談しづらいといった課題があった。このため，柏南部地域包括支援センターでは地域の医療職や介護職，居宅介護支援事業所が連携を図る機会を設けるという計画を立てたが，実施時間帯の問題や会議の目的の理解不足などを理由に参加者が集まらず実施できなかった。柏南部地域包括支援センターは，次年度においては，地域包括支援センターの取り組みについて，目的を含め事業所に丁寧に説明していくこととしているが，令和2年度は実施に至らなかった点を捉え，自己評価として1をつけた。一方，事務局としては，企画・実施に至った課題分析と，実施できなかった理由の分析ができていることに着目し，今後の期待を込めて評価した。

**【中村委員】**

次回は計画を実施できるようお願いしたい。

(4) 令和3年度地域包括支援センターの事業計画について

【事務局，各地域包括支援センターより説明】資料4のとおり  
＜質疑応答＞

【前野委員】

12箇所ある地域包括支援センターの事業計画はフレイル予防や認知症など様々ありバラエティに富んでいるが，柏市としての基本方針は何か。また，事業計画には根拠となるデータがあると思うが，各地域の特色と柏市の方針との兼ね合いはいかがか。

【事務局】

柏市全体として取り組む方針は議題1で説明させていただいたが，第8期柏市高齢者いきいきプラン21で示しているとおりであります。認知症の方が住みやすい地域づくり，サービスを必要としている人へサービス提供できる基盤づくり，柏市の高齢者が住みやすい地域づくりの方針が記載されている。プランを踏まえた上で，地域包括支援センターでは様々な地域特性に基づいて，アンケート調査や介護認定等の情報を基に課題を抽出し，解決できるよう資料4のような計画を立てている。

【前野委員】

地域包括支援センターが，このような活動をしていることを知らなかった。多くの方は地域包括支援センターを知らないと思う。地域包括支援センターが持っているデータや地域にあるデイサービス等の情報はどのように収集しているのか。

【事務局】

第8期柏市高齢者いきいきプラン21の162ページ以降に掲載しているものは，市が保有しているデータである。さらに，各地域包括支援センターでは相談内容を積み上げており，それを分析している。また，地域に出向くことや，事業所と意見交換等を行い，情報収集している。

地域包括支援センターの周知や認知度に関して，サービスが必要になった時点で情報を入手する人がほとんどだと感じている。今年度は認知症施策，地域づくりの推進，介護予防・フレイル予防に関する活動を重点項目に挙げている地域包括支援センターもあるため，元気な方，地域で活動している方と連携し普及啓発も推進していき

たい。

**【石山会長】**

柏市は極めて多角的なデータに基づいて事業計画を策定していると思う。いきいきプランと事業計画の関連性，運営協議会の位置づけが，構造的にわかる入口となる資料が示されているとなおよい。

(5) 柏市地域包括支援センターの機能強化について

**【事務局より説明】** 資料5のとおり

< 質疑応答 >

**【鎌田委員】**

センター運営体制に関して，柏南部地域包括支援センターは，高齢者人口が多いが増員の対象にはならないのか。

**【事務局】**

柏南部地域包括支援センターが所管する圏域の高齢者人口も多い。しかし，経営戦略課の2030年度までの人口推計によると，ある一定の年度を過ぎると高齢者人口は減ることが見込まれているため，今回の人員増員の対象にはならなかった。

**【鎌田委員】**

今後高齢者人口が減るため，人員を増やさないということだが，令和4年度内に減るのか。

**【事務局】**

来年度から高齢者人口が減少するわけではない。今回は常勤職員の増員の提案であるため，柏南部地域包括支援センターについては，状況に合わせ非常勤のプランナー等の増員を検討していければと考える。今後の伸びと今の人員の定数を勘案し，令和4年度は優先順位が低いと判断した。

**【石山会長】**

反対意見等はないということで，ご承認いただけたものとする。

7 報告事項

(1) 介護予防支援及び総合事業に係るケアマネジメント業務について

**【事務局より説明】** 資料6のとおり

8 傍聴

なし

9 次回開催日時（予定）

令和3年11月4日（木） 13時30分から